

安全データシート

版番号：01

1. 化学品及び会社情報

【製造者情報】

会社名：IdeaPaint
住所：40 Board Street Boston,
MA 02109

電話番号：+1-617-714-1050

【販売者情報】

会社名：アイデアプラス株式会社
部署名：管理部
住所：東京都江東区青海二丁目7番4号10階
責任者名：澤田真由美
電話番号：03-6426-0225

製品名：アイデアペイント クリエイト 白 <主剤>
製品の種類：2液性無溶剤型エポキシ樹脂系塗料
主な用途：屋内壁等の塗装

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性
健康に対する有害性

GHS分類基準に該当しない。
皮膚腐食性/刺激性 区分2
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 区分2A
皮膚感作性 区分1
発がん性 区分2
水生環境有害性（長期間） 区分2

環境に対する有害性

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語
危険有害性情報

警告
皮膚刺激。 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 強い眼刺激。 発がんのおそれの疑い。 長期的影響により水生生物に毒性。

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 ミスト/蒸気の吸入を回避する。 取扱い後はよく洗うこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 環境への放出を避けること。 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 漏出物を回収すること。

保管

施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器は、地域/地方/国/国際法律に従って処理する。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

重要な徴候

重度の眼刺激。 症状には、刺すような痛み、流涙、充血、はれ及び眼のかすみなどがあります。 皮膚刺激性 充血と痛みを起すことがある。 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 発疹。 発疹。

非常事態の概要

発がんのおそれの疑い。 強い眼刺激。 皮膚刺激。 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 水路に排出されると環境に対して危険である。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

官報公示整理番号

成分	CAS番号	化審法	安衛法	含有量 (%)
ジメチルフェニルメトキシシロキサン	68957-04-0			15-40

官報公示整理番号				
	CAS番号	化審法	安衛法	含有量 (%)
二酸化チタン	13463-67-7	(1)-558, (5)-5225	(1)-558, (5)-5225、 2-(3)-509	15-40
エポキシ	30583-72-3			10-30
酸化アルミニウム	1344-28-1	(1)-23	(1)-23	0.5-1.5
ビス (1, 2, 2, 6, 6-ペンタメチル-4-ピペリジル) セバケート	41556-26-7	(5)-5501	8-(1)-1709	0.5-1.5
二酸化ケイ素、結晶質シリカ非含有	7631-86-9	(1)-548	(1)-548	0.5-1.5
化学式	02-Ti (13463-67-7), (C4H6SiO)x (68957-04-0), (C15H28O2.C3H5C1O)x (30583-72-3), Al2O3 (1344-28-1), C30H56N2O4 (41556-26-7), O2Si (7631-86-9)			
組成情報	成分がガスでない限り、全ての濃度は重量パーセントである。ガス濃度は容量パーセントである。			
4. 応急措置				
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移動する。 症状が悪化したり継続したりする場合は医師に連絡する。			
皮膚に付着した場合	汚染された衣服を直ちに脱ぎ、皮膚を石鹸と水で洗浄する。 湿疹またはその他の皮膚障害の場合：この説明書を持参し、医師の診察を受ける。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。			
眼に入った場合	直ちに多量の流水で15分間以上眼を洗浄する。 コンタクトレンズをしていて容易に取り外せる場合は取り外す。 その後も洗浄を続けること。 刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。			
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 もし嘔吐が起こったら、胃からの嘔吐物が肺に入らないよう頭部を下げる。 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。			
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	重度の眼刺激。 症状には、刺すような痛み、流涙、充血、はれ及び眼のかすみなどがあります。 皮膚刺激性 充血と痛みを起すことがある。 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 発疹。 発疹。 長期にわたる暴露により慢性影響をうけることがある。			
応急措置をする者の保護	医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。 この安全データシートを担当医に見せる。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。			
医師に対する特別な注意事項	一般的な処置および症状にあわせた適切な治療を施す。 被災者を保温する。 被災者の観察を続ける。 症状は遅れて出てくることがある。			
5. 火災時の措置				
消火剤	水噴霧。 泡消火剤。 粉末消火剤。 二酸化炭素 (CO2)。			
使ってはならない消火剤	消火に水噴射をしない。これは火災を拡散することになる。			
火災時の特有の危険有害性	火災の際は健康に有害なガスが生成されることがある。			
特有の消火方法	危険でなければ、火災区域から容器を移動させる。			
消火を行う者の保護	火災の際は自給式呼吸器および全身保護衣を着用しなければならない。			
一般的な火災の危険性	火災にまきこまれた場合は燃焼する。			
特定の消火方法	通常の消火手順を用いる。影響を受けた他の物質の有害性を考慮する。			
6. 漏出時の措置				
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	関係者以外の立ち入りを禁止する。 こぼれやもれが起きている場所から関係者以外を遠ざけ、風上に避難させる。 清掃中は適切な保護具および防護服を着用する。 ミスト／蒸気の吸入を避けること。 適切な保護衣を着用せずに、壊れた容器または流出物に触らない。 十分な換気を確認する。 流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。 個人用保護具については、本SDSの項目8を参照。			
環境に対する注意事項	環境への放出を避けること。 全ての環境流出に該当する管理または監視要員に通知すること。 安全を確認してから、もれやこぼれを止める。 下水や水路、地面への排出を避ける。			
封じ込め及び浄化の方法及び機材	水路、下水道、地下または密閉された場所へ流入を防ぐ。 大量の漏出： リスクを伴わずに可能なら、物質の流れを遮断する。 可能な場合は漏出物をせき止める。 パーミキュライト、乾いた砂または土に吸収し、容器に収納する。 製品回収後、その付近を水で洗い流す。 少量の漏出： 吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。 残った汚染を取り去るには、床を徹底的に清掃すること。 絶対に流出物を元の容器に回収して再使用してはならない。 廃棄物の廃棄方法については、本SDSの項目13を参照。			
7. 取扱い及び保管上の注意				
取扱い	技術的対策（局所排気、全体換気等） 適切な換気を行う。			
安全取扱い注意事項	使用前に取扱説明書を入手すること。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 ミスト/蒸気の吸入を回避する。 眼、皮膚、衣服への接触を避ける。 長時間の接触を避ける。 もし可能であれば、閉鎖系で取り扱うこと。 環境への放出を避けること。 産業衛生に気を配る。 本SDSの項目8で推奨されている個人用保護具を使用すること。			
接触回避	詳細については、本SDSの項目10を参照。			

適切な衛生対策	あらゆる医学的監視要件を遵守すること。物質の取り扱い後、および飲食および／または喫煙前に洗うなどの優良個人衛生措置を常に遵守すること。汚染された衣服を脱ぐ。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
保管	
安全な保管条件	施錠して保管すること。容器を密閉しておくこと。混触禁止物質から離して保管すること（本SDSの項目10を参照）。
安全な容器包装材料	元の容器に密閉して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

暴露限界値

日本産業衛生学会－許容濃度成分	タイプ	数値	形状
二酸化チタン（CAS 13463-67-7）	TWA	4 mg/m3	総粉塵
		1 mg/m3	呼吸性粉塵
		0.3 mg/m3	
酸化アルミニウム（CAS 1344-28-1）	TWA	2 mg/m3	総粉塵
		0.5 mg/m3	呼吸性粉塵
ACGIH成分	タイプ	数値	形状
二酸化チタン（CAS 13463-67-7）	TWA	10 mg/m3	
酸化アルミニウム（CAS 1344-28-1）	TWA	1 mg/m3	吸入性画分。

設備対策	十分な全般換気を使用しなければならない。換気率は諸条件に適合していなければならない。該当する場合には、行程囲壁、局所排気装置、またはその他の技術的管理を行い空中浮揚物質レベルを推奨暴露限界値未満に維持すること。暴露限界値が設定されていない場合には、空中浮遊物質レベルを許容可能なレベルに維持すること。近くに水道および洗眼設備を設置する。
------	--

保護具

呼吸器の保護具	空気中の濃度を推奨暴露限界（適用できる場所で）、または許容レベル（暴露限界が確立していない国）を工学技術管理が下回らない場合、推奨マスクを着用しなければならない。
手の保護具	適した耐化学薬品性の手袋を着用しなければならない。適切な手袋は、手袋の専門業者に推奨してもらうこともできる。
目の保護具	認証された安全メガネまたはゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具	エプロン及び腕カバーなどの、適切な耐化学薬品性の衣服を着用すること。大量を扱う場合または緊急時には、全身防護服とブーツが望ましい。

9. 物理的及び化学的性質

外観	
物理的状态	液体。
形状	液体。
色	白色。
臭い	データなし。
pH	データなし。
融点・凝固点	データなし。
沸点、初留点及び沸騰範囲	> 37.8 ° C (> 100 ° F)
引火点	97.2 ° C (207.0 ° F) 密閉式
燃焼性（固体、ガス）	該当しない。
燃焼又は爆発範囲	
燃焼又は爆発範囲－下限(%)	データなし。
燃焼又は爆発範囲－上限(%)	データなし。
爆発下限界（%）	データなし。
爆発上限界（%）	データなし。
蒸気圧	1.5 kPa（20 ° C）
蒸気密度	データなし。
蒸発速度	69（BuAc=1）
比重	1.45（H2O=1）
溶解度	
水溶性	データなし。
n-オクタノール／水分配係数	データなし。
自然発火温度（発火点）	データなし。
分解温度	データなし。
粘度（粘性率）	データなし。

その他の情報	
爆発性状	爆発物でない。
酸化能力	酸化性でない。
がら当りポイント	12.13 lb/gal
揮発性有機化合物	< 25 g/l

10. 安定性及び反応性

反応性	製品はアミン及び酸無水物などのエポキシ樹脂用硬化剤と反応する。製品は過剰な硬化剤（特に脂肪族アミン）と激しく反応し、発熱する。
化学安定度	製品はアミン及び酸無水物などのエポキシ樹脂用硬化剤と反応する。
危険有害反応可能性	脂肪族アミン系硬化剤を過剰に用いると危険有害な重合が生じるおそれがある。
避けるべき条件	高温。 混触危険物質との接触。
混触危険物質	強酸化剤。 強塩基（特に一級及び二級脂肪族アミン）。
危険有害な分解生成物	熱分解や燃焼で二酸化炭素や他の有毒ガス、蒸気を放出することがある。

11. 有害性情報

急性毒性	急性毒性であるとは予想されない。	
成分	種	試験結果
ビス (1, 2, 2, 6, 6-ペンタメチル-4-ピペリジル) セバケート (CAS 41556-26-7)		
急性 経口	ラット	2369 - 3920 mg/kg
皮膚腐食性/刺激性	皮膚刺激。	
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	強い眼刺激。	
呼吸器または皮膚の感作		
呼吸器感作性	呼吸器感作性物質でない。	
皮膚感作性	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。	
生殖細胞変異原性	本製品あるいは製品中に0.1%以上含有する成分に関して、変異原性または遺伝子毒性があることを示すデータはない。	
発がん性	発がんのおそれの疑い。	
ACGIH発がん性物質		
二酸化チタン (CAS 13463-67-7)	A4 ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質	
酸化アルミニウム (CAS 1344-28-1)	A4 ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質	
IARC発がん性評価モノグラフ		
二酸化チタン (CAS 13463-67-7)	2B ヒトに発がん性の可能性がある。	
日本産業衛生学会 - 発がん性物質		
二酸化チタン (CAS 13463-67-7)	2B ヒトに発がん性の可能性がある。	
生殖毒性	この製品は、生殖影響または発達影響を引き起こすとは予想されない。	
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	区分外。	
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	区分外。	
吸引性呼吸器有害性	吸引性呼吸器有害性でない。	
その他の情報	症状は遅れて出てくることがある。	

12. 環境影響情報

生態毒性	長期的影響により水生生物に毒性。
残留性/分解性	この製品は容易に生物分解されるとは予想されない。
生体蓄積性	体内に蓄積される可能性がある。
土壤中の移動性	製品は土壤に吸着するとは予想されない。
オゾン層への有害性	データなし。
他の有害影響	成分からのその他の環境悪影響（例、オゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性）は、予想されない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	現地の規定に従い、処分する。 空の容器やライナーには製品の残余物が残っている可能性がある。本物質とその容器は安全な方法で廃棄しなければならない（「廃棄上の注意」参照）。
汚染容器及び包装	製品の残余物が残っているかもしれないので、容器が空になった後もラベルの警告に従う。 空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、承認された廃棄物処理施設に運ばなければならない。
地域の廃棄規制	廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。 本物質を下水 / 水道供給経路に流入させてはならない。 薬剤または使用済容器で、池、水路、溝を汚染しないでください。 内容物／容器は、地域／地方／国／国際法律に従って処理する。 自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上産業廃棄物処分業の許可を受けた業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添えて、処理を委託する。

14. 輸送上の注意

IATA	
UN number	3082

UN proper shipping name	Environmentally hazardous substance, liquid, n.o.s. (Bis(1,2,2,6,6-pentamethyl-4-piperidyl) sebacate, Epoxy)
Transport hazard class(es)	
Class	9
Subsidiary risk	—
Label(s)	9
Packing group	III
Environmental hazards	Yes
ERG Code	9L
Special precautions for user	Read safety instructions, SDS and emergency procedures before handling.
IMDG	
UN number	3082
UN proper shipping name	Environmentally hazardous substances, liquid, n.o.s. (Bis(1,2,2,6,6-pentamethyl-4-piperidyl) sebacate, Epoxy)
Transport hazard class(es)	
Class	9
Subsidiary risk	—
Label(s)	9
Packing group	III
Environmental hazards	
Marine pollutant	Yes
EmS	F-A, S-F
Special precautions for user	Read safety instructions, SDS and emergency procedures before handling.
MARPOL73/78条約の附属書II及びIBCコードによるバルク輸送	該当しない。
国内規制	国内輸送については15章の規制に従うこと。

15. 適用法令

労働安全衛生法

通知対象物

酸化アルミニウム
酸化チタン(IV)

別表第9 政令番号 189 0.50 - 1.5 %
別表第9 政令番号 191 15 - 40 %

表示対象物

酸化アルミニウム
酸化チタン(IV)

0.50 - 1.5 %
15 - 40 %

毒物及び劇物取締法

特定毒物

該当せず。

毒物

該当せず。

劇物

該当せず。

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

第一種特定化学物質

該当せず。

第二種特定化学物質

該当せず。

監視化学物質

該当せず。

優先評価化学物質

該当せず。

届出不要物質

酸化チタン(IV)

化学物質排出把握管理促進法

特定第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

第二種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

消防法

第四類第三石油類(非水溶性液体) 危険等級Ⅲ

船舶安全法・危規則

有害性物質

航空法・施行規則

その他の有害物質

火薬類取締法

該当せず。

海洋汚染防止法

酸化チタン

Z類

16. その他の情報

引用文献

HSDB® - Hazardous Substances Data Bank
IARC発がん性評価モノグラフ
National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens
日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告
日本化学工業協会 GHS対応ガイドライン、2012年6月
JIS Z 7252 : 2014 GHS に基づく化学品の分類方法
JIS Z 7253 : 2012 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示
及び安全データシート (SDS)

この安全データシートは、日本工業規格JIS Z 7253:2012に沿って作成した。IdeaPaint は、本情報と当社製品、または当社製品と他のメーカーの製品の組み合わせが使用されるあらゆる状況を予測できるわけではありません。製品の処理、保管および処分を行う際に安全な状況を確認するのはユーザーの責任であり、ユーザーは不適切な使用による損失、傷害、損害または費用に法的責任を負います。 シートの情報は、現在入手できる最高の知識と経験に基づき記入されています。

安全データシート

版番号：02

1. 化学品及び会社情報

【製造者情報】	【販売者情報】
会 社 名：IdeaPaint	会 社 名：アイデアプラス株式会社
住 所：40 Board Street Boston, MA 02109	部 署 名：管理部
	住 所：東京都江東区青海二丁目7番4号10階
電話番号：+1-617-714-1050	責任者名：澤田真由美
	電話番号：03-6426-0225
製 品 名：アイデアペイント クリエイト 白 <硬化剤>	
製品の種類：2 液性無溶剤型エポキシ樹脂系塗料	
主 な 用途：屋内壁等の塗装	

2. 危険有害性の要約

GHS 分類	GHS分類基準に該当しない。
物理化学的危険性	急性毒性（吸入） 区分4
健康に対する有害性	皮膚腐食性/刺激性 区分2
	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 区分1
	皮膚感作性 区分1
	生殖細胞変異原性 区分2
	生殖毒性（生殖能、未出生児） 区分1B
	特定標的臓器毒性、反復ばく露 区分2（免疫系）
環境に対する有害性	水生環境有害性（急性） 区分2
	水生環境有害性（長期間） 区分2

GHSラベル要素 絵表示



注意喚起語	危険
危険有害性情報	皮膚刺激。 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 重篤な眼の損傷。 吸入すると有害（気体、蒸気、粉塵、ミスト）。 遺伝性疾患のおそれの疑い。 生殖能への悪影響のおそれ。 胎児への悪影響のおそれ。 長期にわたる、または反復暴露による臓器（免疫系）の障害のおそれ。 長期的影響により水生生物に毒性。

注意書き

安全対策	使用前に取扱説明書を入手すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 ミスト/蒸気を吸入しないこと。 取り扱い後はよく洗うこと。 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 環境への放出を避けること。 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
応急措置	皮膚に付着したとき：大量の水/＜@1＞で洗浄する。 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。 次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。 その後も洗浄を続けること。 直ちに医師/に連絡すること。 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 漏出物を回収すること。
保管	施錠して保管すること。
廃棄	内容物/容器をに廃棄すること。
GHS分類に該当しない他の危険有害性	知見なし。

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

重要な徴候	重度の眼刺激。 症状には、刺すような痛み、流涙、充血、はれ及び眼のかすみなどがあります。 失明等の永久的な眼の損傷がおこる可能性がある。 皮膚刺激性 充血と痛みを起すことがある。 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 発疹。 発疹。 長期にわたる暴露により慢性影響をうけることがある。
非常事態の概要	重篤な眼の損傷。 吸入すると有害（気体、蒸気、粉塵、ミスト）。 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。 皮膚刺激。 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 生殖に影響を与えることがある。 遺伝性疾患のおそれの疑い。 水路に排出されると環境に対して危険である。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

成分	官報公示整理番号			
	CAS番号	化審法	安衛法	含有量 (%)
n-[3-(トリメトキシシリル)プロピル]ブチルアミン	31024-56-3			35 - 90
n-(3-(トリメトキシシリル)プロピル)エチレンジアミン	1760-24-3	(2)-2059, (2)-2083	(2)-2059, (2)-2083	15 - 40
ジブチルスズジラウレート	77-58-7	(2)-2330	(2)-2330	0, 5 - <5

化学式 C10H25いいえ3Si (31024-56-3), C8H22N2O3Si (1760-24-3), C32-H64-04-Sn (77-58-7)
組成情報 成分がガスでない限り、全ての濃度は重量パーセントである。ガス濃度は容量パーセントである

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 必要に応じて酸素または人工呼吸を施す。 気分が悪い時は医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	汚染された衣服を直ちに脱ぎ、皮膚を石鹸と水で洗浄する。 湿疹またはその他の皮膚障害の場合：この説明書を持参し、医師の診察を受ける。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合	直ちに多量の流水で15分間以上眼を洗浄する。 コンタクトレンズをしていて容易に取り外せる場合は取り外す。 その後も洗浄を続けること。 ただちに医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 症状が現れたら医師の手当てを受ける。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	重度の眼刺激。 症状には、刺すような痛み、流涙、充血、はれ及び眼のかすみなどがあります。 失明等の永久的な眼の損傷がおこる可能性がある。 皮膚刺激性 充血と痛みを起すことがある。 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 発疹。 発疹。 長期にわたる、または反復暴露による臓器（免疫系）の障害のおそれ。
応急措置をする者の保護	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。 気分がすぐれないときは医療処置についてアドバイスを求める。（可能ならばラベルをみせる） 医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。 この安全データシートを担当医に見せる。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
医師に対する特別な注意事項	一般的な処置および症状にあわせた適切な治療を施す。 被災者を保温する。 被災者の観察を続ける。 症状は遅れて出てくることがある。

5. 火災時の措置

消火剤	水噴霧。 泡消火剤。 粉末消火剤。 二酸化炭素（CO2）。
使ってはならない消火剤	消火に水噴射をしない。 これは火災を拡散することになる。
火災時の特有の危険有害性	火災の際は健康に有害なガスが生成されることがある。
特有の消火方法	危険でなければ、火災区域から容器を移動させる。
消火を行う者の保護	火災の際は自給式呼吸器および全身保護衣を着用しなければならない。
一般的な火災の危険性	異常な火災や爆発の危険性は知られていない。
特定の消火方法	通常の消火手順を用いる。 影響を受けた他の物質の有害性を考慮する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	関係者以外の立ち入りを禁止する。 こぼれやもれが起きている場所から関係者以外を遠ざけ、風上に避難させる。 清掃中は適切な保護具および防護服を着用する。 適切な保護衣を着用せずに、壊れた容器または流出物に触らない。 十分な換気を確保する。 流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。 個人用保護具については、本SDSの項目8を参照。
環境に対する注意事項	環境への放出を避けること。 全ての環境流出に該当する管理または監視要員に通知すること。 安全を確認してから、もれやこぼれを止める。 下水や水路、地面への排出を避ける。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	水路、下水道、地下または密閉された場所へ流入を防ぐ。 大量の漏出： リスクを伴わずに可能なら、物質の流れを遮断する。 可能な場合は漏出物をせき止める。 パーミキュライト、乾いた砂または土に吸収し、容器に収納する。 製品回収後、その付近を水で洗い流す。 少量の漏出： 吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。 残った汚染を取り去るには、床を徹底的に清掃すること。 絶対に流出物を元の容器に回収して再使用してはならない。 廃棄物の廃棄方法については、本SDSの項目13を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策（局所排気、全体換気等）	屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
安全取扱い注意事項	使用前に取扱説明書を入手すること。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 ミスト又は蒸気を吸入しないこと。 当材料を目に接触させないで下さい。 眼、皮膚、衣服への接触を避ける。 長時間の接触を避ける。 妊娠中または授乳中の女性はこの製品を取り扱ってはならない。 もし可能であれば、閉鎖系で取り扱うこと。 環境への放出を避けること。 産業衛生に気を配る。 本SDSの項目8で推奨されている個人用保護具を使用すること。
接触回避	塩素。 詳細については、本SDSの項目10を参照。

適切な衛生対策	あらゆる医学的監視要件を遵守すること。 物質の取り扱い後、および飲食および／または喫煙前に洗うなどの優良個人衛生措置を常に遵守すること。 汚染された衣服を脱ぐ。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。	
保管		
安全な保管条件	施錠して保管すること。 容器を密閉しておくこと。 換気の良い場所で保管すること。 混触禁止物質から離して保管すること（本SDSの項目10を参照）。	
安全な容器包装材料	元の容器に密閉して保管する。	
8. 暴露防止及び保護措置		
暴露限界値		
ACGIH 成分	タイプ	数値
ジブチルスズジラウレート (CAS 77-58-7)	STEL	0.2 mg/m3
	TWA	0.1 mg/m3
暴露ガイドライン		
米国ACGIH許容濃度：皮膚	皮膚から吸収される可能性がある。	
ジブチルスズジラウレート (CAS 77-58-7)		
設備対策	十分な全般換気を使用しなければならない。換気率は諸条件に適合していなければならない。該当する場合には、行程囲壁、局所排気装置、またはその他の技術的管理を行い空中浮揚物質レベルを推奨暴露限界値未満に維持すること。暴露限界値が設定されていない場合には、空中浮遊物質レベルを許容可能なレベルに維持すること。 この製品は、洗眼設備および緊急用シャワーがあるとところで扱わなければならない。	
保護具		
呼吸器の保護具	換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。	
手の保護具	適した耐化学薬品性の手袋を着用しなければならない。 適切な手袋は、手袋の専門業者に推奨してもらうこともできる。	
目の保護具	認証された安全メガネまたはゴーグルを着用する。 飛散の危険がある場合は、フェースシールドを着用する。	
皮膚及び身体の保護具	エプロン及び腕カバーなどの、適切な耐化学薬品性の衣服を着用すること。 大量を扱う場合または緊急時には、全身防護服とブーツが望ましい。	
9. 物理的及び化学的性質		
外観		
物理的状态	液体。	
形状	液体。	
色	透明。	
臭い	僅かにアンモニア臭。	
pH	10 (20 ° C)	
融点・凝固点	データなし。 / 凍結させないこと。	
沸点, 初留点及び沸騰範囲	> 140 ° C (> 284 ° F)	
引火点	> 93.3 ° C (> 200.0 ° F)	
燃焼性 (固体, ガス)	該当しない。	
燃焼又は爆発範囲		
燃焼又は爆発範囲一下限 (%)	データなし。	
燃焼又は爆発範囲一上限 (%)	データなし。	
爆発下限界 (%)	データなし。	
爆発上限界 (%)	データなし。	
蒸気圧	< 1.5 hPa	
蒸気密度	データなし。	
蒸発速度	データなし。	
比重	0.99 (H20=1)	
溶解度		
水溶性	水に溶けない。加水分解によって分解する。	
n-オクタノール／水分配係数	データなし。	
自然発火温度 (発火点)	> 260 ° C (> 500 ° F)	
分解温度	データなし。	
粘度 (粘性率)	データなし。	
その他の情報		
爆発性状	爆発物でない。	
酸化能力	酸化性でない。	
ガロン当りポント*	8.3 lb/gal	
揮発性有機化合物	< 100 g/l	

10. 安定性及び反応性

反応性	本製品は、通常の使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。
化学安定度	通常状態で安定。
危険有害反応可能性	製品がエポキシ樹脂、イソシアネート、あるいはウレタンプレポリマーと混合しない限り、重合は生じない。
避けるべき条件	熱、火花、裸火から離して保管する。 水や湿気との接触を避ける。 混触危険物質との接触。
混触危険物質	高温。
危険有害な分解生成物	過酸化化物。 酸化剤。 酸。 アルコール類。 還元剤。 塩基。 この製品が熱分解すると、一酸化炭素および二酸化炭素を生成することがある。

11. 有害性情報

急性毒性	吸入すると有害（気体、蒸気、粉塵、ミスト）。		
成分	種	試験結果	
n-(3-(トリメトキシシリル)プロピル)エチレンジアミン（CAS 1760-24-3）			
急性			
経口			
LD50	ラット	2413 mg/kg	
経皮			
LD50	ラット	> 2000 mg/kg	
ジブチルスズジラウレート（CAS 77-58-7）			
急性			
経口			
LD50	ラット	2071 mg/kg	
経皮			
LD50	ラット	> 2000 mg/kg, 24 時間	
慢性			
NOAEL（無毒性量）	ラット	2.5 mg/kg	
皮膚腐食性/刺激性	皮膚刺激。		
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	重篤な眼の損傷。		
呼吸器または皮膚の感作			
呼吸器感作性	呼吸器感作性物質でない。		
皮膚感作性	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。		
生殖細胞変異原性	遺伝性疾患のおそれの疑い。		
発がん性	ヒトへの発がん性を分類できない。		
ACGIH発がん性物質			
ジブチルスズジラウレート（CAS 77-58-7）	A4	ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質	
生殖毒性	生殖能への悪影響のおそれ。 胎児への悪影響のおそれ。		
特定標的臓器毒性（単回暴露）	区分外。		
特定標的臓器毒性（反復暴露）	長期にわたる、又は反復暴露による臓器（免疫系）の障害のおそれ。		
吸引性呼吸器有害性	吸引性呼吸器有害性でない。		

12. 環境影響情報

環境影響データ			
成分	種	試験結果	
n-(3-(トリメトキシシリル)プロピル)エチレンジアミン (CAS 1760-24-3)			
水生			
急性			
甲殻類	EC50	オオミジンコ	90 mg/l, 48 時間
藻	EC50	緑藻 (Selenastrum capricornutum)	8.8 mg/l, 72 時間
魚類	LC50	コイ科	> 100 mg/l, 96 時間
生態毒性	長期的影響により水生生物に毒性。		
残留性/分解性	この製品は容易に生物分解されるとは予想されない。		
生体蓄積性	体内に蓄積される可能性がある。		
生体内蓄積の可能性			
オクタノール／水分配係数 log Kow			
ジブチルすずジラウレート (CAS 77-58-7)	3.12		
土壌中の移動性	この製品は水に溶けないか、または僅かしか溶けない。 土壌中の移動性は低いと考えられる。		
オゾン層への有害性	データなし。		
他の有害影響	成分からのその他の環境悪影響（例、オゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性）は、予想されない。		

13. 廃棄上の注意

該当する全ての規制に従って廃棄する。

残余廃棄物	現地の規定に従い、処分する。 空の容器やライナーには製品の残余物が残っている可能性がある。本物質とその容器は安全な方法で廃棄しなければならない（「廃棄上の注意」参照）。
汚染容器及び包装	製品の残余物が残っているかもしれないので、容器が空になった後もラベルの警告に従う。 空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、承認された廃棄物処理施設に運ばなければならない。
地域の廃棄規制	廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。 本物質を下水 / 水道供給経路に流入させてはならない。 薬剤または使用済容器で、池、水路、溝を汚染しないでください。 内容物／容器は、地域／地方／国／国際法律に従って処理する。 自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上産業廃棄物処分業の許可を受けた業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添えて、処理を委託する。

14. 輸送上の注意

IATA	
UN number	3082
UN proper shipping name	Environmentally hazardous substance, liquid, n.o.s. (n-(3-(Trimethoxysilyl)propyl)ethylenediamine, Dibutyltin dilaurate)
Transport hazard class(es)	
Class	9
Subsidiary risk	-
Label(s)	9
Packing group	III
Environmental hazards	Yes
ERG Code	9L
Special precautions for user	Read safety instructions, SDS and emergency procedures before handling.
IMDG	
UN number	3082
UN proper shipping name	Environmentally hazardous substances, liquid, n.o.s. (n-(3-(Trimethoxysilyl)propyl)ethylenediamine, Dibutyltin dilaurate)
Transport hazard class(es)	
Class	9
Subsidiary risk	-
Packing group	III
Environmental hazards	
Marine pollutant	Yes
EmS	F-A, S-F
Special precautions for user	Read safety instructions, SDS and emergency procedures before handling.
MARPOL73/78条約の附属書II及びIBCコードによるバルク輸送	該当しない。
国内規制	国内輸送については15章の規制に従うこと。

15. 適用法令

労働安全衛生法			
通知対象物			
スズ及びその化合物	別表第9 政令番号 322	0.50 - 7.5 %	
表示対象物			
スズ及びその化合物		0.50 - 7.5 %	
毒物及び劇物取締法			
特定毒物			
該当せず。			
毒物			
該当せず。			
劇物			
該当せず。			
化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律			
第一種特定化学物質			
該当せず。			
第二種特定化学物質			
該当せず。			
監視化学物質			
該当せず。			
優先評価化学物質			
該当せず。			
化学物質排出把握管理促進法			
特定第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)			
該当せず。			
第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)			
有機スズ化合物	政令番号 239	7.5 %	(ジブチルスズジラウレート)
第二種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)			
該当せず。			
船舶安全法・危規則	有害性物質		
航空法・施行規則	その他の有害物質		
火薬類取締法			
該当せず。			

16. その他の情報

引用文献

National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens
日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告
EPA：AQUIREデータベース
日本化学工業協会 GHS対応ガイドライン、2012年6月
JIS Z 7252：2014 GHS に基づく化学品の分類方法
JIS Z 7253：2012 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)
IARC発がん性評価モノグラフ
HSDB® - Hazardous Substances Data Bank

この安全データシートは、日本工業規格JIS Z 7253:2012に沿って作成した。IdeaPaint は、本情報と当社製品、または当社製品と他のメーカーの製品の組み合わせが使用されるあらゆる状況を予測できるわけではありません。製品の処理、保管および処分を行う際に安全な状況を確認するのはユーザーの責任であり、ユーザーは不適切な使用による損失、傷害、損害または費用に法的責任を負います。 シートの情報は、現在入手できる最高の知識と経験に基づき記入されています。